

医療法人社団広恵会 春山外科病院

〒169-0073 東京都新宿区百人町1-24-5

TEL 03-3363-1661 FAX 03-3371-1021

<http://www.haruyama-hosp.com>

e-mail : info@haruyama-hosp.com

かお
顔の骨折
こっせつ

診療部 形成外科
田中 浩二

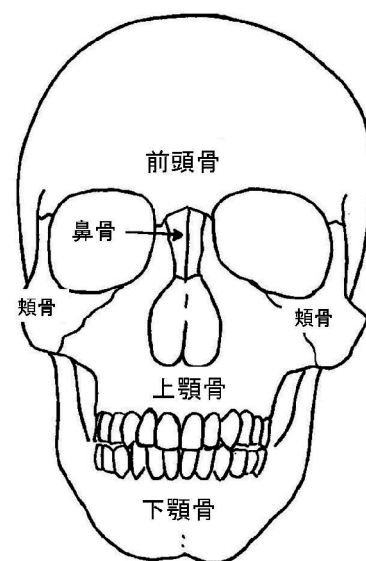
手や足の骨と同じように顔の骨も強い外力を受けると骨折します。顔は他の部位と比べて血流に富み、受傷早期には著明な血腫や浮腫をきたし、それが治まってはじめて変形を自覚することもあります。また豊富な血流により骨癒合が早く、受傷後2週間以上経つと手術的に変形を改善することが困難となります。顔に強い外力を受けた場合はできるだけ早期の受診をおすすめします。

診断には、他部位の骨折と同様にレントゲン撮影が欠かせませんが、顔は多くの骨が複雑に重なり合った立体構造をしているため単純レントゲン撮影だけでは診断が困難なことがあります。近年ではCTにて骨のわずかな不連続性もかなり鮮明に描出できるようになり、さらに3D画像に再構築することによって立体的な構造も正確に把握できるようになりました。

また受傷部位それぞれにおいて特徴的な症状が見られるため、その所見とあわせて診断します。やはり顔の骨折のなかで最も症例が多いのは鼻骨です。鼻骨の場合は出血や腫れ、変形を伴い、他の顔面骨折に比べて痛みが強いのが特徴です。頬骨の骨折では口が開きにくくなったり、頬や歯がしびれたりします。また、上顎骨や下顎骨の骨折では噛み合わせに異常が出ます。

治療は、保存的に経過を見る場合と手術を行う場合とがあります。多くの場合、そのままにしておいても骨癒合が得られますが、自然に骨癒合させて噛み合わせの異常などの機能障害が残りそうな場合や、顔の変形を来しそうな場合は手術を行います。ただし、手術は緊急で行うことは比較的になく、顔の腫れや傷が落ち着くのを待ち、2週間以内に行うのが一般的です。

顔の骨折の治療は、①早期に診断し、②注意深く経過観察しながら顔の腫れや傷が落ち着くのを待つ、③必要なら2週間以内に手術という理想の流れがあります。この流れに乗るには何よりも「早期の受診」が必要です。当院では主として形成外科医が診断、治療を行っております。3D-CTも撮影可能ですので、顔に強い外力を受けた場合はできるだけ早期の受診をおすすめします。





平成19年3月～19年6月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	合計
外来患者延べ数	4,311	4,287	4,451	4,318	4,610	4,890	26,867
入院患者延べ数	1,128	1,352	1,445	1,463	1,373	1,581	8,342
搬送救急車台数	440	413	550	459	455	454	2,771
平均在院日数	10.5	13.4	11.7	12.5	11.6	15.0	12.5
手術件数	43	65	44	50	62	45	309

栄養科だより

こつしょうしょう

骨粗鬆症は食べ合わせに注意!

骨密度が下がり、骨折を引き起こしやすくなる骨粗鬆症は更年期の女性ホルモンの減少や過度のダイエットなどを引き金に、女性に多く発症すると言われています。食事によるカルシウム摂取や適度な運動が骨密度の維持につながりますが、一緒に摂る種類や量によっては、吸収が阻害されてしまうことがあります。

ハムや即席めんなど加工食品に添付されているリン酸塩に含まれるリンは小腸内で骨のカルシウムと結びつき吸収を妨げてしまいます。過剰な食物繊維の摂取もカルシウムの吸収に悪影響を及ぼします。

さらにコーヒーなどに含まれるカフェインやアルコールの過剰摂取や喫煙によっても骨の代謝は力は弱まります。1日4杯以上コーヒーを飲むとカフェインの過剰摂取となり、代謝を弱めてしまうように注意が必要です。



整形外科より一言

骨粗鬆症が心配な方へ…

骨は加齢により変形し、痛みをもたらします。当院では骨密度を測定し骨年齢を調べることができます。心配な方は整形外科までどうぞ。

リハビリ室便り

皆さんはリハビリテーションの定義等いうものをご存知ですか? 代表的なものは、1941年、全米リハビリテーション評議会が唱えた「リハビリテーションは、障害を受けた者を彼のなしうる最大の身体的、精神的、社会的、職業的、経済的な能力を有するまでに回復させることである」というものです。当リハビリテーション科では、この定義の中にある「身体的」リハビリテーションを主として行っています。

怪我をした又は手術をした直後からリハビリテーションを開始し早期に社会復帰できるよう、スタッフ一同全力で取り組んでいます。

医療機関の皆様へ

《検査依頼》

検査予約は、下記時間帯で承ります。

平日 9:00～17:00 (土曜日～16:00)

- ・CT、MRI検査 → 「放射線科」
- ・脳波検査 → 「臨床検査室」
- ・その他 → 「外来看護師」

《入院依頼》

9:00～17:00の診療時間内の入院依頼は

診療担当医又は鈴木が対応いたします。

夜間、休祭日は当直医が対応いたします。

その他のご相談は医療相談室で承ります。

春山外科病院の理念と基本方針

病院理念

救急医療活動を中心とし、さらに地域に密着した急性期病院として、常に患者の皆様にご安心で信頼される医療を提供できるよう努力してまいります。

基本方針

1. 急性期疾患と救急医療にあたる地域の中核病院として常に医療技術の向上を図り、最善の医療を提供できるよう努力いたします。
2. 患者様の立場に立っての安全で親切的な医療の提供に努め、患者様の権利とプライバシーを尊重した医療を心がけてまいります。
3. 医療設備の充実や療養環境などの改善により、病院機能の充実・強化を行い、適切な医療サービスを提供できるように努めます。
4. 地域の医療・福祉機関等との連携を強化し、地域のニーズに適応した医療を提供致します。
5. スタッフと病院がともに発展できる、働きがいのある職場を目指します。
6. 健全な経営を維持し、その成果を医療活動を通じて地域に還元します。

患者様の権利

当院では下記の患者様の権利を守ることを宣言します。

良質な医療を公平に受ける権利

患者様はだれでも社会的な地位、疾病も種類、宗教などにより差別されることがなく、適切な医学水準に基づいた安全かつ効果的な医療を受ける権利を持っています。

選択の自由の権利

患者様は担当の医師、病院等を自由に選択し、また変更する権利があります。また、いかなる治療段階においても、他の医師の意見を求める権利を有しております。

情報を得る権利

患者様には、自身の病状や治療について医療上の記載されている情報を受ける権利を有しています。また、納得出来るまでわかりやすく十分な説明を受ける権利があります。

自己決定の権利

患者様は、情報と医療従事者の誠意ある助言・協力を得たうえで、自己の自由な意思に基づいて、検査・治療その他の医療行為を受け、選択し、あるいは拒否する権利を有します。

プライバシーを保護される権利

患者様には、医療過程で得られた個人情報の秘密が侵されない権利があります。

尊敬を得る権利

患者様は、病を自ら克服しようとする主体として、その生命・身体・人格を尊重される権利を有します。また痛みをはじめとする苦痛の除去を受ける権利があります。

当院へのご意見をお待ちしております

当院では、患者様の率直な声をお聞きするために意見箱として「患者様の声」を外来受付窓口と3階談話室に設置しております。ご意見いただいた内容は業務改善委員会で定期的に議論し、クレームなど改善すべき点は策を検討し患者様満足向上のため努力しております。お気づきの点がありましたらお気軽にご投函下さい。メールでも受付いたします。

✉ info@haruyama-hosp.com

編集後記



梅雨も明け夏休みの予定を決めている頃だと思います。皆さんは上高地に行った事がありますか？ 日本の代表的な山岳景勝地で「神降地」の語源にもあるように、神の存在を思わせるような神秘的な自然の美しさを堪能でき目の前にそびえる穂高連峰と、清らかな梓川の流れはきっと訪れる人に爽やかな感動を与えてくれます。海外もよいですが日本の避暑地も悪くないですよ。

地域連携室長(副院長) - 岡田和紀

鈴木秀道 八鍬美香子 内山慎吾 柴谷健吾

岡田直子 五十嵐一光 大比良瞳